

ウエイ ラ ミン ティエン

# 为 了 明 天

—— 明日のために ——

**子どもたちに希望を 人々に友情を**

特定非営利活動法人 宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会

<http://www.sokeirei.org>

## わたしたちは友好の種をまき続けます

### — 第三回総会を終えて —

2月20日、宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会(JCC)は、NPO法人として三回目の総会を開催いたしました。昨年度の事業・活動をかえりみて、今年度の事業計画案と収支予算案を検討し決定するものでした。

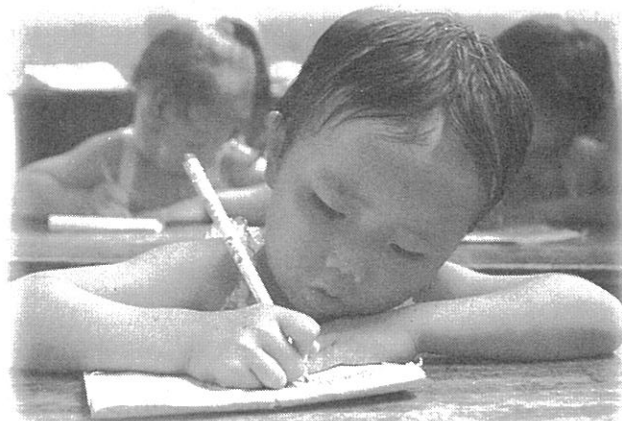
JCCの事業の基本は、経済的にも文化的にも立ち遅れた中国内陸の農山村の子どもたちに希望を届ける教育支援です。継続的支援に心がけてくださる支援者の皆様のご寄付のおかげで、04年度も吉林省永吉県の中学生50名、河北省易県の小学生300名、女子中学生50名、寧夏回族自治区の小学生130名、女子中学生60名、師範専科女子学生45名、内蒙古自治区通遼市の小学生150名、貴州省凱里市の小学生100名、計885名に、各々に差異がありますが総額250万円を給付しました。就学支援奨学金のほかに、生涯役に立つ新華辞典の配布及び図書セット(図書と書棚1セット8万円相当)の寄贈も続けています。

昨夏の河北省における豪雨の際には、倒壊した校舎の再建に即刻の募金で支援しました。給水塔の老朽化で飲料水に窮していた中学に新しい給水塔も寄贈しました。

八王子市及び周辺地域の皆様の大きな力をお借りした活動としては、「北京ヴァイオリン」のチャリティー上映会の実施があります。900余名が会場に足を運んでくださり、中国に親しみを覚える機会となりました。

53万円余の純益は河北省易県の子どもたちに対する就学支援奨学金に当てられています。

05年度の事業計画では、就学支援奨学金の給付や図書セットの寄贈を続けるほか、二つの小学校の校舎建設を支援します。一つは、



寧夏回族自治区固原県の黄砂の山地に建てられる坪楽小学校で、東京代々木ライオンズクラブが創立30周年記念アクティビティとして昨年準備してくださっているものです。同地域で唯一の近代建築物として子どもたちを励ます事になります。もう一つは、一昨年多くのご支援により設立された貴州省凱里市三棵樹鎮の母子保健センターで誕生する子どもたちが通学する賞郎小学校の老朽化に伴う新築支援です。母子保健センター設立支援に尽力してくださった須藤 雛氏(JCC副代表理事/花さき保育園園長)が現地の切望に応じて資金の大部分を寄付してくださる事になっています。

いまJCCでは、皆様の大きなご支援に応えるために法人としてのレベルアップ(税法上の優遇措置を得られる資格の取得)に努力しています。また、「机と椅子」に不足する農村中学校のために「国際ボランティア貯金に係る寄付の配分」に申請しています。04年度には、JCCの提案で日本外務省「草の根・人間の安全保障無償」に申請していた貴州省恵水県の母子保健センター設立プロジェクトが援助資金を獲得する事ができました。05年度は、内蒙古自治区通遼市における小学校建設プロジェクトで同無償資金を申請しています。

わたしたちは、皆様と共に東アジアの平和共存、隣国との友好の条件を創り出すために、日々努力を続けたいと願っています。

なお、3月29日、JCC発足時、事務所を無償で提供して下さった井上与一氏が急逝されました。ここに、謹んで生前のご厚意に感謝しご冥福をお祈り申し上げます。

# 事業経過報告

2004年1月1日から12月31日

プロジェクト内容		前期繰越	当期募金額	当期事業実施	現在積立額
プロジェクト1-1	幼児教育	85,000	965,000	716,000	334,000
プロジェクト1-2	母子保健	419,147	335,000	300,000	454,147
プロジェクト2-1	奨学金	933,000	1,073,000	950,000	1,056,000
プロジェクト2-2	校舎・設備	0	777,000	670,000	107,000
プロジェクト3	図書セット寄贈	275,000	264,000	400,000	139,000
プロジェクト4	寧夏教育支援	0	2,466,505	1,608,125	858,380
プロジェクト5	内モンゴル教育支援	100,000	100,000	200,000	0
合計		1,812,147	5,980,505	4,844,125	2,948,527

## 2004年度収支計算書 2004年1月1日から12月31日

科目	金額		
	内訳	期中小計	期中合計
<b>収入の部</b>			
I 寄付金収入合計			7,498,985
維持会費寄付		1,523,240	
プロジェクト寄付		5,450,505	
幼児教育支援事業寄附	965,000		
母子保健事業寄附	335,000		
奨学金事業			
(河北省・吉林省)	543,000		
(寧夏回族自治区)	2,466,505		
(内モンゴル自治区)	100,000		
校舎・設備支援寄附	777,000		
図書セット寄贈事業寄附	264,000		
カンパ		525,240	
II その他収入合計			1,125,925
中国への理解を深める為の活動		1,125,870	
講演会	42,000		
映画上映会	1,083,870		
預金利息		55	
当期収入合計			8,624,910
前期収支差額繰越金			3,942,049
当期収入合計			12,566,959
<b>支出の部</b>			
I 事業支出の部		4,844,125	
幼児教育支援事業	716,000		
母子保健支援事業	300,000		
奨学金支給事業			
(河北省・吉林省・貴州省)	950,000		
(寧夏回族自治区)	1,608,125		
(内モンゴル自治区)	200,000		
校舎・設備支援事業	670,000		
図書セット寄贈事業	400,000		
II 運営費の部		1,798,848	
振替口座加入者負担	27,960		
事務室管理料	242,110		
水道光熱費	70,335		
旅費交通費	28,120		
通信費	227,800		
広告活動費	388,172		
会議費	91,206		
国際交流費	237,424		
消耗品費	158,424		
海外送金料	31,500		
コピー機リース料	156,240		
原価償却費	29,181		
雑費	110,376		
III その他の支出		585,084	
講演会・映画会会場費他	585,084		
当期支出合計			7,228,057
収支差額次期繰越金			5,338,902
当期支出合計			12,566,959

## 2005年度の事業予定

ご支援、よろしくお願ひいたします。

### ● 就学支援奨学金支給

内容	奨学金額(1人)	受給者数
河北省易県の小学生	1,500円	300人
河北省易県の女子中学生	3,000円	50人
吉林省永吉県の第7中学生	3,000円	50人
貴州省凱里市三棵樹鎮の小学生	1,500円	100人
寧夏回族自治区西吉和平	7,000円	60人
中学校の女子生徒		
寧夏回族自治区固原師範	12,000円	30人
専科学校の女子学生		
内モンゴル自治区通遼市の小学生	1,300円	150人

### ● 図書セット寄贈

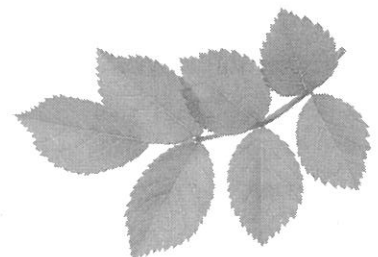
河北省易県の小中学校5校 40万円

### ● 学校建設・設備支援

寧夏回族自治区固原県坪楽小学校校舎建設・附属設備 480万円  
 貴州省凱里市賞郎小学校校舎建設・附属設備 400万円  
 河北省易県の中学校に「机と椅子」補充  
 (「国際ボランティア貯金に係る寄付の配分」に申請) 200万円

### ● 母子保健支援

貴州省凱里市三棵樹鎮の妊婦に対し、  
 1人1,500円の入院分娩援助金を100人に支給



## 友好を深めあったJCC幼児教育研究交流訪中団

# 中国福利会・上海宋慶齡基金会挙げての歓迎に、日々、感動・感激の渦

諏訪 きぬ（明星大学・団長）

JCC幼児教育研究交流訪中団は、上海宋慶齡基金会を受け入れ窓口として、3月16日から22日までの日程で、上海市立威海路幼稚園及び東方幼稚園・中国福利会託児所及び幼稚園・宋慶齡幼稚園等を訪ね、研究交流を行いました。団員は諏訪きぬ（団長）以下 岡本富郎（副団長）・斉藤政子・東田幸子（秘書長）・董丹犁（以上5名明星大学）・木村和子・中村紀代子（以上名古屋短期大学）・高橋真由美（藤女子大学）・諏訪義英（大東文化大学名誉教授）の総勢9名。昨年9月、上海からの幼児教育訪日団が視察に訪れた園にも参加を呼びかけましたが、3月・卒園式を控えて参加者は得られませんでした。

今回のJCC幼児教育研究交流訪中団の研究交流の目的は以下の4点です。

- (1) 上海市が実験基地としているモデル園（幼稚園、託児所）を訪問し、中国で展開されている先進的な保育・幼児教育の現状について学ぶ。  
〈5幼稚園・託児所見学〉
- (2) 幼児期における「寄宿制」の意義について検討する。〈中国福利会幼稚園の保育〉
- (3) 中国の保育者養成の現状およびキャリア形成の状況を調査し、共同研究の可能性について検討する。〈華東師範大学閻教授・上海師範大学曹教授らと研究交流〉
- (4) 中国福利会国際和平婦幼保健院の見学を通して、「妊娠から出産、育児」へのサポートの体

制を学ぶ。〈保健院では詳細な説明と見学、質疑応答を行った〉

上海学前教育実験基地と称されるモデル園では、たくましく、かしこく、やさしい子どもをいかに育てるかという課題に、園の総力を挙げて取り組んでいる状況にまず圧倒されました。どの園も保育目標として、一に健康づくり（食育や中国の伝統的武術）、二に科学的思考力の形成、三に全人格の形成を挙げ、外国の先進的実践に学んで「こんな試みをしている」とそれぞれ独自の保育を展開していることを指し示す園長先生の姿は、実に自信に満ちていました。腕のいい調理師をスカウトし、食事からおやつまで安全・清潔・栄養バランスに配慮しているという取り組みを目の当たりにして、「保育園の給食は外部委託」という日本の保育施策の貧困さに国の未来を思いました。広々とした温水プール、ローラースケート場、室内遊戯室、食・寝・遊（学習）に区分された保育室…とよく整備された保育環境の中に、中国の政府・保育関係者の子どもに寄せる深い思い、高い期待、そして中国の未来を感じ取ることができます。

訪中団が掲げたすべての課題を満たし、多岐にわたる研究交流ができるよう配慮くださった上海宋慶齡基金会・中国福利会に深謝し、今後JCCを通して、幼児教育に関する研究交流がさらに発展することを期待しています。



# 図書寄贈と視察の旅

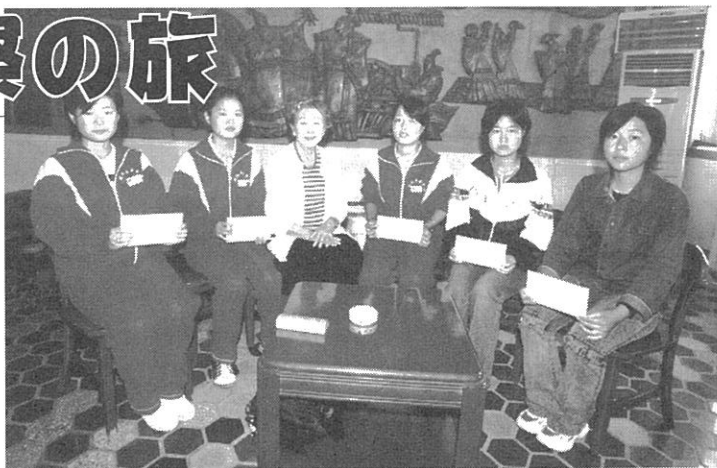
2004. 9. 22～27

2004年度も河北省易県の白馬中学校及び4校の小学校に図書セット(1校あたり8万円)を送ることが出来た。昨秋、その寄贈と視察のため、井岡、三浦が訪中した。

〔22日〕午後北京着。基金会を訪ねて叱利群副主席と歓談した。

〔23日〕早朝、基金部の杜愛平さんと共に易県に向った。途中から易県教育局副局長の肖鵬さん、担当の高健勇さんの案内で、まず西陵鎮五道河の満族完全小学校(生徒数130名、職員9名)を訪問。ここは図書寄贈ではなく、大きなボール箱いっぱいの運道具(サッカーボール・バトミントン等)を贈った。この辺りの家々の屋根には、収穫したとうもろこし(常食)が山のように干されていて、真黄色に見えた。招待所で5人の女子中学生に会い、それぞれに「柳田奨励金」(奨学金受給生の

中から選ばれた5人に



柳田奨励金の女子中学生と

1人1万円)を手渡した。5人とも健康で利発そうな少女だった。その後、山道を車で走り、西陵鎮太平峪小学校(生徒数125名、職員7名)及び流井郷主良小学校(生徒数179名、職員9名、ほかには学前班の幼児)を訪問。図書セットの設置状況、図書の活用状況を視た。

主良小学校は、校舎が倒壊、村民協力の新校舎建築はレンガが少し積まれたまま、資金が無くてストップしていた。狭く暗い校長室兼職員室は物置のように荷物が積み、運動場もガレキの状態だった。(JCCは10月末に早速52万円を送金、別掲のように校舎再建の支援に対する感謝状が届いている。)

更に、流井中学に行った。給水塔(為了明天No.8の写真)がそびえ、蛇口からは冷水がほとばしり出していた。

〔24日〕午前、宋慶齡故居を訪問。午後は黃華前主席を訪問した。

〔27日〕基金会にて三浦は鄧紅沁項目処副処長と会い、井岡は杜愛平さんと協定書・領収書関係の仕事をして帰国。(三浦記)

## 会員について

NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会には正会員と維持会員の2種類の会員があります。正会員は、特定非営利活動促進法上の社員に相当し、法人の目的に賛同の上所定の申込書をもって入会し、総会への参加、年1万円の会費納入等の権利義務を持ちます。維持会員は、法人の目的に賛同して任意に入会し、年一口5000円の維持費を拠出し、法人の事業・運営に協力します。(定款 第2章)

# 中国における人間開発と貧困問題

創価大学助教授 川崎 高志

中国での貧困解消への取り組みは1980年代に入って本格的に始まった。具体的には1978年の時点で2億5000万人も存在する貧困人口をいかに減少させ、貧困を撲滅するかということであった。中国における貧困政策の特徴は以下の3点があげられる。

第一に国家指導者と中央政府による強力なリーダーシップによって、「上からの」貧困解消が進められた。さらに地方政府も個々の政策目標を設定し、国家からの投資と自己資金によって、貧困地区の実体に即して効果的な政策を実行した。

第二に80年代なかばからは、それまでの災害救助型の単純救済から、貧困地区での産業育成と自助努力を促進する開発型政策を強くおし進めた。

第三に90年代には中国の中央政府と地方政府以外にも、ユニセフをはじめとする国連機関、世界銀行などの多くの国際機関、「希望工程」に代表される国内活動、海外のNGOや民間団体による援助と協力が多面的におこなわれた。

当会も設立以来それまでの経験と実績をふまえて、寧夏、内モンゴル、河北、吉林、貴州の貧困地域に対する支援プロジェクトを実施している。

これらの地域の貧困状況は、地理、自然、気候、環境などさまざまな要因によってもたられ



た。しかしすべてに共通するのは教育状況や衛生状況の改善によって、生活の向上と人的資源の開発につながっていくのである。

世界の貧困人口が毎年1000万人ずつ増加している中で、中国での貧困問題の解決が大きな成果を上げているのは注目に値する。国連開発計画（UNDP）はこの成果を「発展途上国、ひいては世界全体にとってモデルケースとなる」と高く評価している。

中国政府は2000年をもって貧困問題が基本的に解決されたことを表明したが、いまだに多くの内陸地域には発展に取り残され、支援の手を必要とする子供達や女性が数多く存在する。これらの人々の自立と成長を支えることが、貧困からの脱却に対する本当の支援となると思う。

## JCC中国講座 第6回

### 胡錦濤主席の挑戦

— 中国の政治・社会の地殻変動を見る —

講師：朱建栄さん 東洋学園大学教授

日時：5月7日（土）14～16時

場所：八王子労政会館 第1会議室

参加費：500円

中国では今、「地殻変動」が起きている。経済成長は社会的に階級・階層の分化をもたらし、格差問題を招きつつも、史上初めての「中間層」を作り出している。この深層に流れる社会的潮流をもっと重視して、中国の行方を考えるべきではないか。日中関係にとっても今年重要な節目の年であり、胡錦濤指導部は新しい対日方針を模索している。

この講演では、中国内面の分析をしつつ、日中間の問題も検討し、両国関係の行方を一緒に考えたい。

# 今年のJCCの教育支援に対して 中国山村の児童・生徒、父母、教師たちから 感謝状が届きました。

井岡 今日子 記

## ご支援のおかげで暖かい教室で冬をすごせました

去年の夏、何十年ぶりの大雨に襲れたため、わが村の主良小学校の校舎が倒れました。4クラスの生徒たちが学校へ来られなくなり、借りた民家で勉強を続けました。

なるべく早く教室を建て直し、学校を元のように戻すために、村のリーダーたちは積極的な方法を考へて、資金と材料を工面しました。村民たちも相次いでお金と物



を寄付したのですが、資金が不足して、校舎の工事はストップしました。この時、貴基金会の皆様は熱い手を伸ばして、援助してくれました。冬の本番前に、6クラスの校舎の工事が完成しました。その上、校舎の暖房設備も寄付していただき、生徒たちに冬の暖房の問題も解決しました。

いま、学校内に、生徒たちの讀書の声があちらこちらから聞こえます、教室の中は春のように暖かい教室で生徒たちが勉強しています。このような環境の中で、先生が熱心に教えていますし、生徒たちも勉強に励んでいます、保護者たちも安心しています。

ここで、村人と全校の先生と生徒たちを代表して、皆様に心から感謝しています。有難うございました。とり年の中で、順調に過ごすように願っています。

2005年1月25日

河北省易県  
流井郷主良村委員会  
流井郷主良小学校

## 就学支援奨学金の 受給生からのおたより

尊敬するおじさん、おばさん。こんにちは。

私に援助していただき、有難うございました。皆様の援助は、私の勉強の道を支えてくれました。本当に心から感謝しています。

私は、貧困地区に住んでいる女の子です。家庭の年間現金収入は1,000元（日本円に換算すると15,000円）にならないのです。今、何にでもお金がかかる世の中ですから、私の家族は、お米や小麦粉をあまり食べられませんし、新しい服もありません。ほとんど人から貰った服を着ています。学校へ行くために学費もいるし、毎月100元ぐらいの生活費も必要です。両親はできるだけ節約しても借金をしています。ですから、両親はいつも私が学校へ行くことをやめさせようとしていましたが、私の成績がとてよくて、なかなか決心できなかつたらしいのです。私の成績は小学校6年間、いつもトップでした。中学生になっても連続2年間全年級が一番でした。

私は、貧しい生活をしていますけれど、いつも勉強に励んでいます。私には大きな目標があります。両親を養

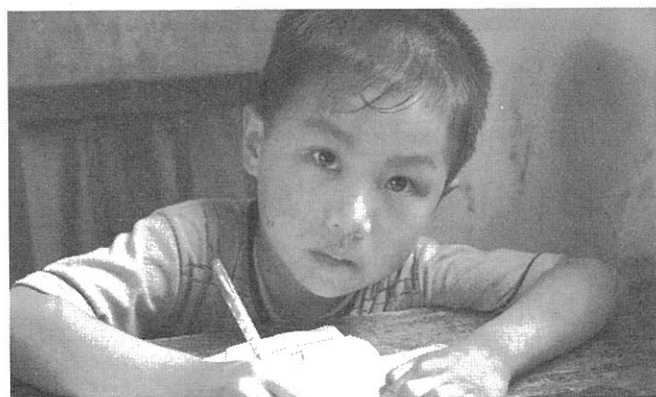
うために、勉強を頑張り、将来大学に進学して、いい仕事をしたい。また、日本のおじさんおばさんたちのように、貧困地区のたくさんの子どもを援助したいと思っています。

最後に、心から感謝の言葉を言いたいのです。ありがとうございました。

一人の貧困地区の女の子として、皆さまにお願いしたいことがあります。たくさん私のような子どもを援助してください。

皆様が健康で、仕事が順調でありますように願っています。

河北省易県紫荆関中学校生徒 瞿 海霞



宋慶齡基金會の皆様、こんにちは。

私は、河北省易県塘湖鎮塘湖村の回族小学校の3年生劉思敏といます。

あなたが寄付した100元をいただいたとき、私の家族はほんとうに雪中に炭を頂いた気持ちでした。

わが家族は6人です。何年前におばあさんが脳の手術をしたため、貯金を全部使いました。今もおばあさんは高血圧と心臓病で、いつも薬を飲んでます。私が生まれた時から、お母さんは糖尿病で、私はお母さんの乳を飲んだことなく、粉ミルクで育てられました。最近、お母さんは心臓病と胃下垂の病気で、いつも北京の病院へ行って薬を飲んでます。お兄さんは高校生で寮生活をしているので、お金もかかります。

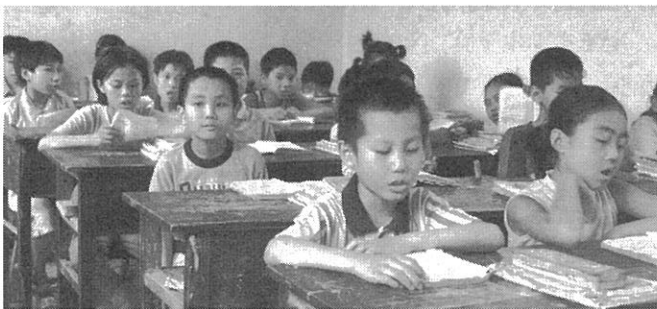
両親には毎月何百円か収入がありますが、足りなくて、経済的にとても困難です。おじいさんは、七十以上の年で、山の上で石板を作らなければならないのです。石板を作る仕事は、若者でもたいへんな仕事なのに、おじいさんはおばあさんのためにやらなければならないのです。

私は、いつも学費を払う時に焦っていました。両親は私のためにお金を集めることがとても困難でした。

今、私は援助をいただきました。これから必ず勉強を頑張っ、大きくなって、国のために働きたいと思っています。

劉 思敏

2004年12月16日

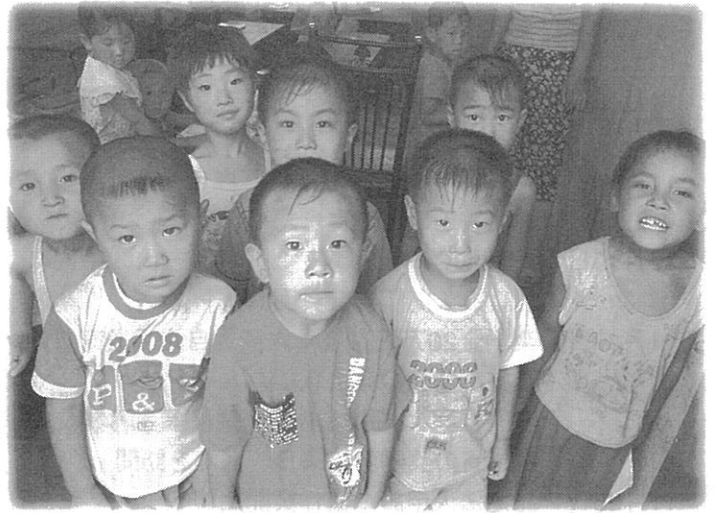


宋慶齡基金會のおじさん、おばさん達、こんにちは。

私は、易県大龍華郷小南頭村村民牛利田の息子、牛聡実といます。9歳で、野里店小学校の三年生です。勉強を頑張ったせいで、各科目の成績が良かったです。しかし、私の家は僻地にあります。家にはお父さんの労働力しかなく、出稼ぎにも行けない状態で、経済的に苦しんでいます。ですから、お父さんは何回も、私を学校に行かせないと言いましたが、いつも私は、お父さんに涙を流しながらお願いをしました。

こんな状況の中で、皆様は暖かい手を伸ばして、援助してくださいました。皆様は私に学校に行くチャンスを与えてくれました。無私の温かい気持ちを持っているあなた達に私と私のお父さんはとても感動しています。皆様の恩を一生忘れません。

これから、私はもっと勉強を頑張っ、いい成績をとりたいと思っています。皆様、私の勉強に、ご指導と助けを心からよろしくお願ひします。いい成績をとって、



みなさまに恩返しをできるように頑張ります。よく勉強して、将来国のために働きたいのです。

皆様の健康と、仕事があまく行くように、心から願っております。

河北省易県野里店小学校生徒 牛 聡実

2004年12月14日



親愛なるおじさん、おばさん こんにちは。

妹が皆様から援助金をいただいた時に、僕は嬉しくて飛び上がりました。僕と僕のお父さんも嬉しくて涙を流しました。

我が家の生活維持はお父さんの農業収入しかないのです。お母さんが重い精神病に罹っていて、すべてお父さんが面倒を見ています。我が家には他の経済収入がなく、お父さんは何回も僕と妹に学校を辞めて、家事を手伝ってほしいと思っていましたが、鎮の政府から助けがあって、学校を辞めないで済みました。

今、妹が皆様から100元の援助金をいただきました。これは、我が家にとっても必要な助けになります。お父さんはいつも妹に『よく勉強しなさい、このお金は大事なお金ですよ。』と言っています。妹は『分かっています、分かっています』と返事をしています。僕は、わが家族の代表として、皆さまの援助にとっても感謝しています。

僕と僕の妹が必ず皆様の気持ちを裏切らないように勉強を頑張ります。将来、国のために働きます。

お礼を言います。

塘湖鎮中心校生徒 牛河蘭の兄 牛河強

2004年12月13日



- 11月 6日 中国宋慶齡基金会李希奎部長より05年日中共同事業について提案
- 11月 8日 東京代々木LCより寧夏回族自治区坪楽小学校建設工事協定書が届く
- 11月13日 第5回JCC中国講座：川崎高志氏「中国における人間開発と貧困問題」
- 11月17日 奨学金20万円送金：内蒙古自治区通遼市の蒙族小学校の児童150名  
中国福利会戯劇院の女優張晶晶さん、文部科学省の奨学金で来日、JCCを訪問
- 11月23日 認定法人申請準備作業開始
- 11月24日 賞郎小学校建設支援検討会／幼児教育研究交流上海訪問準備会
- 11月27日 第22回事務局会議：幼児教育支援交流等
- 11月29日 第7回理事会議案書発送
- 12月19日 第7回理事会：2005年度事業計画及び収支予算について（八王子市学園都市センター）  
忘年懇親会
- 2005年
- 1月 3日 張晶晶さんを青山こども劇場に招待
- 1月 5日 中国宋慶齡基金会よりEMS:吉林省第7中学の奨学生より感謝状等
- 1月 9日 張晶晶さんを前進座に招待
- 1月10・13・15日 2004年度末財務整理、監査
- 1月15日 第23回事務局会議：第3回総会議案について
- 1月31日 第3回総会議案書発送
- 2月18日 貴州省恵水県における母子保健センター設立に対する日本外務省「草の根・人間の安全保障無償」援助決定の連絡  
中国宋慶齡基金会よりEMS:内蒙古自治区蒙族小学校奨学生名簿と感謝状
- 2月20日 第8回理事会・第3回総会開催（八王子市学園都市センター）
- 2月21日 上海宋慶齡基金会よりEMS:貴州省凱里市賞郎小学校建設工事協定書受理（調印済）
- 2月28日 東京都に年度末報告書を提出
- 3月 1日 東京法務局に基本財産変更届・第2期役員登記
- 3月 2日 JCC幼児教育研究交流上海訪問団結団
- 3月10日 「国際ボランティア貯金に係る寄付の配分」に対する申請書類を日本郵政公社に郵送提

出（「机と椅子」1,999,980円）

- 3月14日 上海宋慶齡基金会よりEMS:貴州省凱里市賞郎小学校建設図面・工程書／凱里市三棵樹鎮奨学生名簿
- 3月16日～22日 JCC幼児教育研究交流代表団（諏訪きぬ团长）上海訪問
- 3月24日 久保田代表理事・井上副代表理事、認定法人申請準備のため東京国税庁を訪問
- 3月24日 中国宋慶齡基金会よりEMS:寧夏回族自治区固原坪楽小学校建設工事協定書受理（調印済）
- 3月29日 上海宋慶齡基金会に130万円送金：  
①賞郎小学校建設支援100万円（第1回）  
②貴州省凱里市小学生に奨学金15万円（100名）  
③凱里市三棵樹鎮の妊婦に入院分娩援助金15万円（100名）  
■JCC発足の恩人 井上与一氏 逝去
- 3月30日 八王子南郵便局貯金課課長・主任、JCC事務所に来訪：「国際ボランティア貯金」関係
- 3月31日 中国宋慶齡基金会に100万円送金：坪楽小学校建設支援（第1回）
- 4月 5日 中国宋慶齡基金会より「草の根・人間の安全保障無償」申請書（内蒙古自治区通遼市における小学校校舎建設資金援助）
- 4月 9日 第24回事務局会議：幼児教育研究交流上海訪問団の報告ほか
- 4月28日 “為了明天”第9号発行

## 予告

### 第7回 JCC中国講座

#### 地域は作られる

#### 東アジア共同体をどう形成するか？

講師：毛里 和子さん

早稲田大学政治経済学術院教授

11月26日（土）14時～16時

場所：八王子市学園都市センター（予定）

## 編集 後記

60年前、昭和20年の春、私は中国へ渡り、すぐ終戦となって黒龍江省・吉林省で難民生活を過ごした。零下30度の冬、長春市で凍傷に罹り両足を失ったが、幸い助けられ病院列車・病院船で帰国した。障害の身となったが、それでも、近年、10数回も訪中し、中国は心の通う親しい隣国である。近現代史を深く学び、将来の日中の子ども達の幸福友好を心から希って、JCCのボランティアを続けさせて頂いている。明るい青葉の季、皆様元気に過ごしましょう。（三浦克子）

## 「為了明天」No.9

2005年4月28日発行

題字：周 肖

編集：三浦・井上

発行者：NPO法人宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会  
久保田博子

〒192-0904 東京都八王子市市安町1-43-6-206  
TEL/FAX 0426-46-4210

郵便振替：00170-2-152423

UFJ銀行八王子支店（普通）4731623